

## 市民との意見交換会報告書（概要）

相 手 先	自主防災組織連合会理事
開 催 日 時	令和元年11月12日（火）10時00分～12時00分
開 催 場 所	豊明市役所新館4階第1委員会室
相 手 方 人 数	自主防災組織連合会理事21人
議 員 人 数	議員19人・議会事務局1人・防災防犯対策課2人
意見交換会で出された意見・要望と議会回答	<p>1. 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明市議会議長 三浦 桂司</li> <li>・自主防災組織連合会会長 家田 忠志 様</li> </ul> <p>2. 豊明市議会災害時対応マニュアルについて 総務委員会委員長 毛受 明宏</p> <p>3. 意見交換（概要）と回答について</p> <p>○先日の台風19号の時に、このマニュアルどおりに運用されたか。 (回答) 市の対策本部で、この先の天候が悪くならない見込みをしたので、次のステップに進まなかった。すべてがマニュアルに従うものにはなっていない。災害対策本部が立ち上がれば、その都度、連絡する。</p> <p>○福島原発の時も住民避難情報が出されず、被害が拡大した。避難命令は市が出すのか。 (回答) 対策本部は市であり、対策本部が出す。対策本部はなるべく早く、空振りでもいいから出す考えである。台風19号の時には境川に氾濫情報は出たが、この先の見込みを考慮した結果、対策本部は立ち上がらなかった。</p> <p>○避難訓練をしたが、自主避難者の中には地区以外の住民も含まれていた。いろんなケースが想定されますので、訓練した成果はあった。</p> <p>○風水害の避難場所は、地域の集会所を活用する検討をいただけないか。 (議会回答) 歩いていける地域の集会所の活用は自主避難所として有効かと思いますが、その建物の位置は、浸水等の危険性がないかなど安全性確保を調査する必要がありますのでその旨を市へ伝えます。</p> <p>○122の自主防災組織があり、各区の実情に合わせ、各地域の防災組織ごとに補助マニュアルを策定したい。支援スタッフも不足するので議員のサポートもあればありがたい。また、行政内の連携がはかられるように促してほしい。 (議会回答) 要請があればいつでも対応させていただきます。行政内の連絡は市当局へ伝えます。</p>

○要支援者のネットワークづくりが大変である。議員も実態を知ってほしい。対象者への個別訪問を通して感じている。

(議会回答)

実態の理解に努めます。

○地域の情報は区長経験者が知っている。地域住民の命は、地域で守るが原則と考える。支援者の把握は、民生児童委員に協力を願い、一体で行っている。

○支援者名簿の取組み途中である。前後中町内は、避難場所が大宮小、栄小、豊明小になるので、住民の把握がどうなるかが心配。どこの避難所へ行けばいいのかという心配の声がある。

○桶狭間の区民会館は高台にある。集まれる場所があるだけでもよいが、高齢者が苦勞して集合しても資機材もなく、いかがなものか。

(議会回答)

同会館は市の指定避難所にはなっておりません。施設の管理責任者は区長であるため、資機材等は区がそろえることとなります。その際の相談や避難所運営訓練などでは、市も協力するとのことですので、再度、市当局へ伝えておきます。

○双峰小、唐竹小が統合される。避難場所はどうなるか。唐竹グラウンドは活用できるのか。

(議会回答)

避難場所は従来どおりで、避難場所としての機能は唐竹小学校跡施設に残りますのでご安心ください。唐竹グラウンドも現状と変わらず、一時避難所(小学校へ行く前に集まる場所)となります。

○市と議員間の緊急連絡体制はあるのか。

(議会回答)

議員は豊明市議会災害時対応マニュアルにおいて議長を通して情報の収集・伝達を行います。混乱を避けるため、議員個々による市への問い合わせはしないことになっています。

○二村台4区は、切土が多く、開発から40年が経過している。地盤が安定しているが高齢化が急速に進行。双峰小までの距離あり。老人憩いの家の擁壁が心配である。今年度サポーターを作り、支援者宅の訪問をしている。

○要支援者の発掘・把握は大変である。人間同士の関係作りから始めなければならない。豊中が避難所となっているが、体育館の鍵の開錠までに時間がかかる。

(議会回答)

体育館の鍵の開錠は施設管理者である学校(校長)が開錠することになっています。水害の場合は、事前予想ができるため早めに関錠することが可能です。突然やってくる地震の場合は、最初はグラウンドに集まっていただき、体育館等施設の安全が確認できたあとに、学校が開錠することになっています。

ご意見の趣旨は理解いたしますので、市当局へ伝えます。

- 高齢化が50%を超える町内があり困る。要支援者の方を支援する人材を集めることが大変である。車いすの常時設置場所をPRしてほしい。

(議会回答)

公共施設の車いすはそれぞれの施設管理者が管理しています。

市役所内では正面玄関と新館(東館)玄関に置いてあります。利用を希望される方が困ることなく、設置場所がわかりやすく伝わるようPRの方法について検討するよう市当局へ伝えます。

- いざという時には、町内の事業所のフォークリフトを活用する。避難所開設訓練を被災1週間後、3か月後を想定して訓練する体制づくりをしてほしい。

(議会回答)

市当局へ提案します。

- 町内で話し合うが、避難場所の沓掛小は遠い。要支援者の移動は時間がかかるので検討している。

- 支援活動は1人では無理。隣近所、防災委員を含め、日頃から協力体制づくりが必要である。議員も協力されたい。

(議会回答)

近隣地区の議員が協力致します。

- 市健康長寿課の理念は感じるが、末端までは伝わらない。温度差がある。

- ゆたか台は高台にある。安全と思われるが災害時には孤立すると感じる。又、三崎小は三崎池堤防が心配となる。防災無線は誰が聞くか。

(議会回答)

避難所となっている三崎小学校では、すぐ隣に三崎池があり堤防決壊等のご心配な点はごもっともであります。市当局に伝えます。又、防災無線(トランシーバー型)は各区に配備されており、通常は無人のところに置いてあると思いますが、何か災害が起こり住民の皆さま方が集まったときには、災害対策本部につながり、区と市とで情報の収集や伝達が行えます。よりよい活用方法を検討することも含め、市当局へ伝えます。

- 皆瀬川の堆積物除去を願いたい。

(議会回答)

市から県へ要望しております(河床整正の予定)。

- 要支援者の対策は、7年前から取り組み。毎年支援者会議を開く。自主防災委員170名、支援者98名。サポート体制ができ避難方法を連絡している。要支援者にだれが対応するかの名簿もできている。

- 避難所運営は各地域で運営することを実感した。リーダーシップが取れる取り組みが必要だ。今年度初めて中央小で4区1町内合同訓練を実施した。各小学校単位での訓練も重要だ。

(議会回答)

おっしゃる通りです。2019年に総務委員会行政視察で訪れた石巻市では、各地区で一斉に訓練を実施し成果をあげていることを学んできました。市当局へ要望として伝えます。

○大久伝排水機場の改修工事は6年かかるという。一刻も早く竣工されたい。

(議会回答)

2019年は隣接の土地を用地買収しました。来年度以降も順次進めていくとのことですが、引き続き市から県へ要望していくよう当局に伝えます。

○同報無線の設置で本当に機能するのか疑問である。各家庭に子機配布を希望する。

(議会回答)

ご意見があったことを当局へ伝えます。

○中央小で4000人が避難するとどうなるか心配だ。地域によって事情は違うから避難所指定は柔軟にしてはどうか。避難所の鍵(学校の門、体育館)は誰が持っているか明確に。複数の近隣住民とか暗証式のキーボックスの導入の検討を。

(議会回答)

施設管理者(学校長)が建物の安全確認をしてから、学校が開錠することになっておりますが、貴重なご提案として市当局へ伝えます。

○地域の防災訓練に議員の参加が少ない。

(議会回答)

議会として各議員に周知します。